

コンテンツひらめきシート

— 使い方マニュアル —

【目次】

- P.2……はじめに
 - 準備するもの
 - 準備が完了したら
 - 事前設定として
- P.3……STEP1 の書き方のポイント
- P.4……STEP2 の書き方のポイント
- P.5……STEP3 の書き方のポイント
- P.6……STEP4 の書き方のポイント

はじめに

「コンテンツひらめきシート」は、電話やメール対応などに追われない、リラックスできる時間に、楽しくゲームに取り組む気持ちでトライしてみてください。

実際に商品を目の前に置いて、商品とおしゃべりする気持ちでじっくり向き合ってみると考えやすいです。

好きな音楽を聴きながら、コーヒーや、おやつ、お酒をお供にして考えたり、仕事仲間や、商品作りに携わっているメンバーとおしゃべりしながら取り組むのも OK です。

準備するもの

- ・コンテンツひらめきシート(2ページ) →書き込めるように、A4 用紙などにプリントアウト
- ・魅力を引き出したい商品
- ・鉛筆と消しゴム、もしくは消せるボールペンなど

準備が完了したら

「コンテンツひらめきシート」では、4つの STEP で商品の魅力を引き出していきます。

感覚的に記入できるところもありますが、もしも途中で、つまずいたらこちらのマニュアルに戻ってきてください。それぞれの STEP についてポイントを書いておきます。

事前設定として

今回のマニュアルでは、具体的なイメージを持っていただくために、架空の商品「青森県産りんご 100%果汁のリンゴジュース」を例に「コンテンツひらめきシート」の活用方法を説明していきます。

※今回はリンゴジュースを例にしていますがあくまで説明用ですので、皆様の商品に合わせて、同様の手順でシートを進めてみてください。

【商品設定】青森県産りんご 100%果汁のリンゴジュース

青森県産りんごを 100%使用した果汁リンゴジュース。太陽をたっぷり浴びて育った「サンふじ」と、甘さと酸味のバランスが絶妙な「ジョナゴールド」をブレンド。青森のりんごをもっと手軽に楽しんでほしいという思いから、代表自らが厳選したりんごを使用し、飲みやすさを追求しながら試行錯誤を重ねました。独自の製法で、りんごの皮と果肉の食感を残し、まるで生のりんごをそのまま味わっているかのようなジュースです。ボトルデザインも地元青森のクリエイターが手がけ、見た目にもこだわった贈り物に最適な商品です。

●STEP.1 の書き方のポイント

STEP1 は、いわゆるターゲット設定です。その商品を本当に届けたいユーザーはどんな人ですか？今はこういう人に届いているけれど、将来的にはこういう人にも届けたいということもありますよね。届けたい人物を頭の中でイメージしながら、口にチェック✓します。

・複数選択することになるかもしれません。できるだけ具体的なユーザー像を思い描くことで、この後のSTEPでも考えやすくなります。

・「その他」の欄には、口の項目だけでは選びきれないことを記入してみてください。たとえば、ターゲットの具体的な想定年齢やどんなものが好きな人なのか等々、自由に記入してください。

【記入例】

STEP.1

誰に届けたいか？を考えよう

※複数回答OK

<input type="checkbox"/> 男性ユーザー <input checked="" type="checkbox"/> 女性ユーザー	<input checked="" type="checkbox"/> 若年層 <input type="checkbox"/> 中年層 <input type="checkbox"/> 高齢層	<input type="checkbox"/> 青森県内のユーザー <input checked="" type="checkbox"/> 青森県外のユーザー <input type="checkbox"/> 海外のユーザー	<input checked="" type="checkbox"/> その他 20代~30代 <hr/> <input type="checkbox"/> 健康や美容に興味があるユーザー
---	---	---	---

●STEP.2 の書き方のポイント

STEP2は、商品のどんなところを、どんな風に伝えたいかを掘り下げていきます。

伝える相手はSTEP.1 で選んだターゲットです。

- ・商品の「品質」の何を伝えたいか
- ・どんな「ストーリー」を伝えたいか
- ・自慢したい「独自性」は何か
- ・どんな「使い方」をしてほしいか
- …というようにチェックしていけるようになっています。

・たとえば「ストーリー」で、歴史的な背景と素材選びの苦勞のどちらも伝えたいということもありますよね。そんな時は、2つでも3つでも選んでください。逆に「使い方」は、ユーザーの自由に使って欲しいので選択項目がゼロというケースもあるかもしれません。そこは気にしなくて大丈夫です。

- ・伝えたい何かに該当する項目がなければ、「その他」に記入してください。
- ・口にチェックができれば、伝えたいことに優先順位をつけます。たくさんある場合には、1 番目～3 番目までで大丈夫です。チェックを入れた口の隣の○に、1 番～3 番まで番号を書いてください。

【記入例】

STEP.2

何をどんな風に伝えたいかを考えよう

※複数回答OK
☑→チェック
①→番号を記載

①まずは、1番伝えたいことを口にチェックしましょう！カテゴリーを気にせず複数選んでOKです。

例) 品質のこだわりを伝えたい 独自の製法を伝えたい 独自の素材を伝えたい

②その後、チェックした中で特に伝えたいことを1～3位まで選び、チェックを入れた隣の○に番号を書きましょう！

例) ①品質のこだわりを伝えたい 独自の製法を伝えたい ②独自の素材を伝えたい

【品質について】

品質の高さを伝えたい ① 品質へのこだわりを伝えたい

品質を保つための取り組みを伝えたい 職人の技術を伝えたい

【ストーリー】

① 歴史的背景を伝えたい 商品を作るための情熱を伝えたい

商品ができるまでの苦勞を伝えたい ② 素材を見つけるための苦勞を伝えたい

【独自性】

① 独自の製法を伝えたい ラインナップの独自性を伝えたい

② 独自の素材を伝えたい 独自の文化を伝えたい

独自の気候や地形によって作り出されたことを伝えたい

地元でしか手に入らない独自性を伝えたい

【使い方】

このように食べてほしい、を伝えたい ここが便利、を伝えたい

このように使ってほしい、を伝えたい 美味しさを知ってほしい、伝えたい

その他

●STEP.3 の書き方のポイント

STEP3では、STEP.1、STEP2 をつなげて書き出してみます。シートに①～③の記入欄がありますが、この①～③は、STEP2でつけた優先順位の番号です。

【記入例】

**STEP.3**
商品の魅力を言葉にしてみよう

STEP.1で考えた魅力を届けたいターゲットに対して、STEP.2で選んだ1番伝えたいポイントを空欄に書き出します。その後、さらに商品の魅力を文章にして、その中で特にアピールしたいところにアンダーラインを引いてみてください！

(ターゲット) 青森県外の若年層 (20~30代) の女性ユーザー に	
① 品質へのこだわり	を伝えたい
② 独自の製法を	を伝えたい
③ 独自の素材を	を伝えたい

ここからは、少し難易度が上がります。①～③を整理した内容をもとに、商品紹介文を書いてみましょう。今回は例として「リンゴジュース」の魅力を深掘りしながら文章を作ります。文章が完成したら、「ここは特に伝えたい！」という部分にアンダーラインを引いて、さらに魅力ポイントを絞って整理していきましょう。この例文は練習用なので、参考にしつつ、皆様の商品に合わせてオリジナルの紹介文を作ってくださいね。

でも、いざ文章にしようとする結構難しいですよね？今回は練習ですので、もし文章作成に迷ったら、ライバル社の商品の紹介文を真似しても OK です。また、自分たちの商品とは全く違うジャンルの商品だけど、ターゲットが同じという商品の紹介文からヒントが見つかることもありますよ。SNS やネットで探して気になった紹介文をコピペしたり、ノートに書きだしたりしてみてください。

【記入例】

伝えたい魅力をに文章にして書き出してみましょう

飲みやすいように「サンふじ」と「ジョナゴールド」の
バランスを試行錯誤しながら作り上げた。②

独自の製法でりんごの皮と果肉を残し、
りんごを食べているような食感が特長。③

使用するリンゴにこだわり、代表者が自ら農園に出向きりんごを選定した。①

どのように書いていかわからない方は
Instagramのこの投稿を参考にしてみてください→



●STEP.4 について

STEP.3 の商品紹介文を写真で表現するには、どんな写真を撮れば良いかを考えていきます。アンダーラインを引いた魅力ポイントを、実際に商品(リンゴジュース)のどんな場面や要素を写真に収めると、その魅力が伝わるのかを想像してイラストにしてみましょう。

取り組んで頂く際に、どんな写真を撮ればよいか、イラストにするのが難しいと感じたら、他社の商品写真や、過去に自分が撮った写真を振り返ったり、参考サイトの URL を記載するのも OK です。迷ったときは、身近な人に意見を聞いてみるのもおすすめです。写真 1 枚で魅力を伝えきれなくても、複数の写真を組み合わせることで商品の魅力を表現することもできます。

【記入例】

STEP.4

写真のパターンを考えよう



STEP.3で言語化した商品の魅力をどのような写真やカットにするのか、イメージやアイデアを書き出しイラストに描いてみましょう！考えたイメージを写真撮影することで商品の魅力をわかりやすく伝えることができます！

①



2種類のリンゴをバランスよく使用しているイメージを表現するため、商品パッケージメインのカット

②



グラスにリンゴジュースを注いでリンゴの皮や果肉の質感を伝えて美味しさを表現するカット

③



手でりんごを持ち、人の気配を入れることで生産者やストーリーを伝えるカット

どのように書いていいかわからない方は
Instagramのこの投稿を参考にしてみてください→



イラストができれば、そのイメージをもとに実際に商品の写真を撮影してみてください。撮影した写真を使って、SNS で商品の魅力を発信し、多くの人に届けていきましょう！

あomorい SNS ラボ(Instagram:@aomori_sns)では、「コンテンツひらめきシート」の使い方やこのシートを使ったワークショップの取組内容など、SNS 運用に役立つ情報を発信中です！ぜひフォローしてチェックしてください。

【コンテンツひらめきシートに関するお問合せ】

委託事業者:TOPPAN クロレ株式会社 (<https://digital.toppa-colorer.co.jp/contact.html>)